

ウェリントン市への訪問及び今後の交流について

このことについて、以下のとおり報告する。

1 目的

中野・ウェリントン友好子ども交流事業を視察するとともに、ウェリントン市との交流を図るため、表敬訪問、現地視察等を実施した。

2 期間

令和6年7月28日(日)から8月1日(木)まで

3 訪問者

中野区長、随員職員（文化振興・多文化共生推進課長、同課職員2名） 計4名

4 訪問先

- ・7月30日(火)
中野・ウェリントン友好子ども交流事業視察（ウェリントンカレッジ）
- ・7月31日(水)
ウェリントン市長表敬訪問
多文化共生関係団体代表者との会談
マオリ族関係者との会談

5 訪問の成果

ニュージーランドやウェリントン市の現状を把握するとともに、同市とは子どもの交流をはじめ、文化・スポーツ・産業・経済・教育・防災など広い分野での交流に向けて、両自治体の情報交換や認識の共有を図った。また、今後、さらに意見交換等を行い、具体的な交流に繋げていくことが確認できた。

6 今後の交流の考え方

オンライン会談などを活用し、情報共有、意見交換を行い、両自治体の特性の理解を深め、交流・連携していく分野や方法について、具体的に検討・調整を進める。

なお、現在の友好子ども交流は、ホームステイを前提としていることや、対象校が限られていることなど、参加が限られていることが課題である。より多くの中野区の子どもたちが当事業に参加できるよう、訪問や受入れのあり方について、中野区国際交流協会やウェリントン・中野教育協会などと協議していく。また、子どもたちのオンラインでの定期的な交流も検討していく。